CentreCOM® 9006SX/SC リリースノート

この度は、CentreCOM 9006SX/SC をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1. ソフトウェアバージョン　1.0.5J

2. 次期サポート予定機能

以下の項目は、次期バージョンにてサポートする予定です。

- □ **ポートトランキング機能**
- □ **DNS 機能**
- □ **DHCP 機能**
- □ **RMON alarm**

3. 機能追加された項目

本バージョンでは、前バージョン（**1.0.3J**）から以下の項目が追加されました。

3.1 拡張モジュール AT-A14 のサポート

本バージョンより、拡張モジュールのAT-A14（1000BASE-Tポートx1ポート）の使用が可能になりました。

ソフトウェアバージョン **1.0.1J** から **1.0.3J** へのバージョンアップにおいて以下の項目が追加されました。

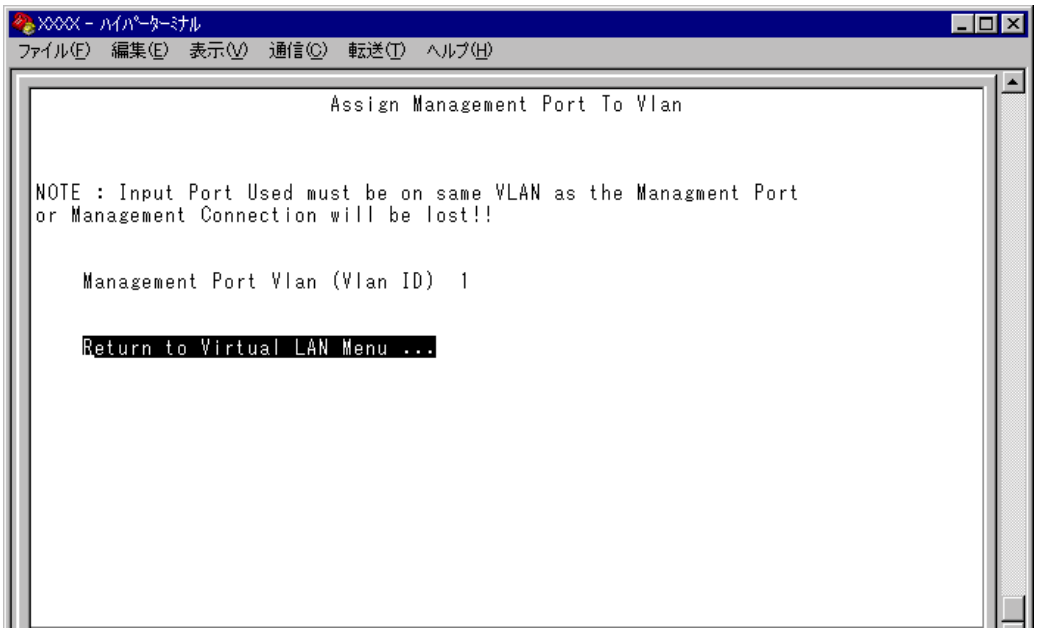
3.2 マネージメントポートの VLAN 割り当て（Assign Management Port To VLAN オプションの追加）

参照「オペレーションマニュアル」2-65 ページ

バージョン 1.0.3J より、管理用のマネージメントポートを Default VLAN 以外の VLAN に割り当てることが可能になりました。
デフォルト設定では、マネージメントポートは「Default VLAN（ID ＝ 1）」に所属しています。Default VLAN以外のVLANにマネージメントポートを割り当てる場合に、このオプションであらかじめ定義されたVLANのID番号を設定します。（VLAN IDは、「VLAN Definition Menu」画面から各 VLAN ごとに設定します。）
マネージメントポートと本体へのアクセスを行うポートは同一のVLANに属している必要があります。マネージメントポートと異なるVLANに属しているポートから本体にアクセスすることはできませんのでご注意ください。また、マネージメントポートを複数のVLANに所属させることはできません。

□ **マネージメントポートの VLAN 設定手順**

1. ［Main Menu］-> ［Virtual LANs/QoS］-> ［Assign Management Port To VLAN］とすすみ、次の画面を表示します。



2. Mを入力して、既存の ID をハイライト表示します。

3. Enterキーを押して、「->」プロンプトを表示します。

4. 「->」プロンプトに続けて、あらかじめ定義されたVLANのID番号を半角数字で入力します。

4. 本バージョンで修正された項目

本バージョンでは、前バージョン（**1.0.3J**）から以下の項目が修正されました。

4.1 スパニングツリー機能を他社製品との組み合わせにおいて使用した場合、接続先の機器から受信した65Byte以上のBPDUを正しく認識できない問題がありましたが、これを修正しました。

4.2 マネージメントポートから送信されるARP requestパケットをDefault VLAN以外のポートにも送信してしまう問題がありましたが、これを修正しました。

4.3 システム管理（Administration）メニュー内［Diagnostics］オプションを選択して表示される画面のシステムの稼動経過時間（例：「Running 2 days, 3 hours, 4 minutes, 5 seconds」）、およびSNMP RFC1213 MIBオブジェクト[SystemUpTime]の値が正しく表示されない場合がありましたが、これを修正しました。

4.4 AT-A14（1000BASE-T 拡張モジュール）のサポートにともない、1000BASE-X/1000BASE-T アップリンクポートのデフォルトポート名「Uplink Port x**(GB)**」を、それぞれ「Uplink Port x**(G/T)**」（＝ AT-A14）、「Uplink Port x**(G/X)**」（＝ AT-A15）に変更し、画面上で区別ができるよう修正しました。

5. 本バージョンでの制限事項

5.1 スタティック MAC アドレステーブルについて

以下の機能は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

□ スタティック MAC アドレス表示「All Static MAC Addresses」

参照「オペレーションマニュアル」2-92 ページ

□ スタティック MAC アドレスの追加・削除「Add MAC address/Delete MAC address」

参照「オペレーションマニュアル」2-94 ～ 2-97 ページ

□ マルチキャストアドレスの追加・削除「Add MAC address/Delete MAC address」

参照「オペレーションマニュアル」2-99～2-102ページ

□ スタティック MAC テーブルの消去「Clear static MAC table」

参照「オペレーションマニュアル」2-103 ページ

5.2 Xmodem ダウンロード機能について

参照「オペレーションマニュアル」2-26 ～ 2-27 ページ

［XModem software update to this system］メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続しなおしてください。

5.3 送信フレームの統計情報「Multicasts」について

参照「オペレーションマニュアル」2-14 ～ 2-15 ページ

［Ethernet statistics］メニューの「Transmit Statistics Graph」画面/「Total Good Transmits」画面において、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、「Multicasts」としてカウント表示されます。

5.4 SNMP 機能について

［Administration］メニューの［Reset and restart the system］実行時（ソフトウェアリセット時）に出力されるトラップは、coldStart です。

5.5 設定変更時のご注意

システムの設定変更（ミラーリング機能設定をのぞく）を行った後は、［Main Menu］->［Administration］とすすみ、［Reset and restart the system］メニューを実行し、システムをリセットしてください。

5.6 Half duplex 設定時のご注意

参照「オペレーションマニュアル」2-7 ページ

本製品は、［Port status and configuration］メニュー内において、ポートの通信モードを［Half duplex］に設定することが可能です。ただし、1000BASE-SXポートの場合、本製品出荷時点で他の検証機器がないため、本製品同士の検証のみを実施しています。

5.7 QoS 機能について

参照「オペレーションマニュアル」2-74 ～ 2-76 ページ

本製品QoS機能は、ソースアドレス学習済みの ユニキャストパケットのみ対象に制御しています。

5.8 1000BASE-X/1000BASE-Tアップリンクポートポートのポートミラーリング機能について

参照「オペレーションマニュアル」2-55 ～ 2-57 ページ

本製品のソフトウェア（プロトコルスタック部分）から送信されるパケット（BPDU、ARP reply、trap など）は、ミラーリングされません。

5.9 スパニングツリー機能について

IGMPスヌーピングが動作している環境で、スパニングツリー機能を使用することはできません。IGMP スヌーピング機能とスパニングツリー機能は併用しないでください。

5.10 1000BASE-X ポートについて

□ 1000BASE-X ポート同士の通信において（AT-A15 同士のカスケード接続、CentreCOM 9006SX/SC 同士のカスケード接続、AT-A15 と CentreCOM 9006SX/SC のカスケード接続）、ソフトウェアバージョンの組合せによっては、正しく通信できない場合があります。1000BASE-Xポート同士の通信を行う場合は、必ずスイッチ本体を以下に示すソフトウェアにバージョンアップしてからご使用ください。

CentreCOM 8224XL ：バージョン **1.2.12J**
CentreCOM 9006SX/SC ：バージョン **1.0.5J**

□ 1000BASE-Xポートを使用する場合は、スイッチ本体に電源を入れてから、光ファイバーケーブルの接続を行うようにしてください。また、通信に問題が発生した場合は、光ファイバーケーブルの抜き差しを行うようにしてください。

□ 光ファイバーケーブルの TX もしくは RX のどちらか一方のみを抜き差ししないでください。光ファイバーケーブルの抜き差しは、必ず TX と RX の両方を同時に行ってください。

6. マニュアルの誤記訂正

6.1 VLAN 最大設定数について

参照「オペレーションマニュアル」2-56 ページ

VLAN 最大設定数の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

誤 2,047 個

正 254 個